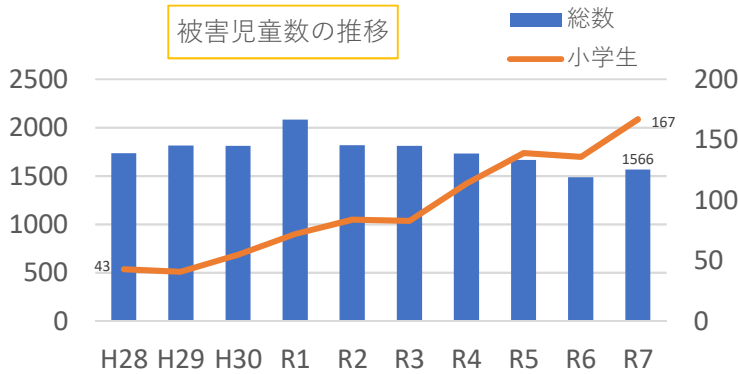


SNSに起因する事犯被害児童の実態

被害児童数の推移



※SNSに起因する事犯とは、SNSを通じて面識のない被疑者と被害児童が知り合い、交際や知人関係等に発展する前に被害にあった性犯罪等の事犯のことをいいます。

令和7年におけるSNSに起因する事犯※の被害児童数は、全国で1,566人と、高い水準で推移しています。
近年は被害児童に占める小学生の割合が増加しています。原因としては、①低年齢層にスマートフォン・SNSの利用が広がったこと②フィルタリングを含め、ペアレンタルコントロール機能の活用が十分でないことが考えられます。



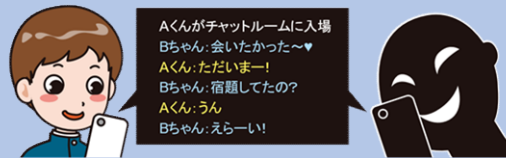
山形県警察本部
生活安全部
人身安全少年課
令和8年夏号

オンラインゲームに潜む危険

「高価なアイテムをあげる」といった甘い言葉に乗せられ、言うことに従ってしまう!



ほとんどのゲームに「ボイスチャット」や「メッセージ交換」の機能が備わっており、匿名・不特定の者とも簡単にやりとりができる!



子供たちが普段遊んでいるオンラインゲームには、犯罪に巻き込まれるきっかけとなるリスクがあります。ほとんどのオンラインゲームに「ボイスチャット」や「メッセージ交換」の機能が備わっており、匿名・不特定の人と簡単にやりとりできます。この機能が悪用され、犯罪に巻き込まれてしまう子供が増えています。



子供を犯罪から守りましょう #ネットルール会議

家庭内でのルールづくり

スマートフォン等の危険性について家庭で話し合い、インターネット利用のルールを作りましょう。
ルールづくりは、インターネットの学習利用等が増えていることも踏まえながら、大人も子供も意見を出し合い、年齢、知識、能力等に応じたものになるようにし、定期的に見直しましょう。

保護者の方へ

普段から子供とよくコミュニケーションをとり、相談できる・気付ける親子関係を築きましょう。



フィルタリングの活用

フィルタリングには、子供の年齢等に応じ、利用時間の設定や、アプリケーションの利用を許可・制限できる機能があります。スマートフォンだけではなく、タブレット端末や携帯ゲーム機等も設定できます。
子供にスマートフォン等を持たせるときは、子供を犯罪から守るためにも、保護者が必ずフィルタリングを設定しましょう。

“ネットの正しい使い方”のヒントはここ→
【こども家庭庁Webサイト】



少年相談窓口



お子さんのこと等でお困りの際は、ご相談ください。
◆専門の資格（公認心理師）を有する職員が対応します。
ヤングテレホン 023-642-1777
少年相談メール 県警ホームページ内から
山形県警察本部人身安全少年課少年サポートセンター



性被害防止の合い言葉

